

C08K 無機または非高分子有機物質の添加剤としての使用(ペイント, インキ, ワニス, 染料, 艶出剤, 接着剤C 0 9) [2]

注

(1)このサブクラスにおいては,ラストブレイス優先ルールが適用される,すなわち各階層レベルにおいて相反する指示がない限り,配合成分は最後の適切な箇所に分類される。[2]

(2)このサブクラスにおいては,

各配合成分から成る混合物は,混合物中のすべての本質的な配合成分を包含するもっとも下位のグループに分類する。

例.

一価アルコールと多価アルコールの混合物C 0 8 K 5 / 0 5 ;[4]

2種の多価アルコールの混合物C 0 8 K 5 / 0 5 3 ;[6]

アルコールとエーテルの混合物C 0 8 K 5 / 0 4 ;[4]

エーテルとアミンの混合物C 0 8 K 5 / 0 0 ;[4]

アミンと金属の混合物C 0 8 K 1 3 / 0 2 ;[4]

アンモニウム塩は金属塩と同じ方法で分類する。[2]

(3)このサブクラスにおいては,上記注(2)に従った分類によっては特定されないが,その使用が新規かつ非自明と判断される混合物の成分も,注(1)に従っても分類しなければならない。この成分は,単一の化合物またはそれ自体が組成物であり得る。[8]

(4)上記注(2)または(3)に従った分類によっては特定されないが,検索に有用な情報を表していると思われる混合物の成分は,注(1)に従ってこのサブクラスに分類してもよい。例えばこれは,分類記号の組合わせを用いて混合物を検索することを可能とするのに有用と考えられる場合にあり得る。こうした非義務的分類は,「付加情報」として付与される。[8]

- 3/00 無機物質の添加剤としての使用[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/01 ・特定の機能に特徴のあるもの[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/011 ・・架橋剤または加硫剤,例.促進剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/012 ・・高分子化合物の劣化を促進する添加剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/013 ・・充填剤,顔料または補強剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/014 ・・酸化,熱,光またはオゾンに対する安定剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/015 ・・防生物剤(防生物材料の担体としての高分子物質A 0 1 L 2 5 / 1 0) [2 0 1 8 . 0 1]
- 3/016 ・・防炎剤または燃焼遅延化剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/017 ・・静電防止剤[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/02 ・元素[2]
- 3/04 ・・炭素[2]
- 3/06 ・・いおう[2]
- 3/08 ・・金属[2]
- 3/10 ・金属化合物[2 0 1 8 . 0 1]

- 3/105 ・・周期表の1族から3族または11族から13族の金属を含有する化合物[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/11 ・・周期表の4族から10族または14族から16族の金属を含有する化合物[2 0 1 8 . 0 1]
- 3/12 ・・水素化物[2]
- 3/14 ・・炭化物[2]
- 3/16 ・ハロゲン含有化合物[2]
- 3/18 ・酸素含有化合物,例.金属カルボニル[2]
- 3/20 ・・酸化物;水酸化物[2]
- 3/22 ・・・金属の[2]
- 3/24 ・・酸;その塩[2]
- 3/26 ・・・炭酸塩;重炭酸塩[2]
- 3/28 ・窒素含有化合物[2]
- 3/30 ・いおう,セレンまたはテルル含有化合物[2]
- 3/32 ・りん含有化合物[2]
- 3/34 ・けい素含有化合物[2]
- 3/36 ・・シリカ[2]
- 3/38 ・ほう素含有化合物[2]
- 3/40 ・ガラス[2]
- 5/00 有機配合成分の使用[2]
- 5/01 ・炭化水素[2]
- 5/02 ・ハロゲン化炭化水素[2]
- 5/03 ・・芳香族[2]
- 5/04 ・酸素含有化合物[2]
- 5/05 ・・アルコール;金属アルコラート[2]
- 5/053 ・・・多価アルコール[6]
- 5/057 ・・・金属アルコラート[6]
- 5/06 ・・エーテル;アセタール;ケタール;オルト エステル[2]
- 5/07 ・・アルデヒド;ケトン[2]
- 5/08 ・・・キノン[2]
- 5/09 ・・カルボン酸;その金属塩;その無水物[2]
- 5/092 ・・・ポリカルボン酸[6]
- 5/095 ・・・ハロゲン含有カルボン酸[6]
- 5/098 ・・・カルボン酸の金属塩[6]
- 5/10 ・・エステル;エーテルエステル[2]
- 5/101 ・・・モノカルボン酸の[6]
- 5/103 ・・・・多価アルコールとの[6]
- 5/105 ・・・・フェノールとの[6]
- 5/107 ・・・・・多価フェノールとの[6]
- 5/109 ・・・炭酸の[6]
- 5/11 ・・・非環式ポリカルボン酸[2]
- 5/12 ・・・環式ポリカルボン酸[2]
- 5/13 ・・フェノール類;フェノラート類[2]
- 5/132 ・・・ケト基含有フェノール[6]
- 5/134 ・・・エステル基含有フェノール[6]
- 5/136 ・・・ハロゲン含有フェノール[6]
- 5/138 ・・・フェノラート[6]
- 5/14 ・・過酸化物[2]

- 5/15 ・ ・ 異項原子として酸素を有する複素環式化合物 [2]
- 5/151 ・ ・ ・ 異項原子として 1 個の酸素を有するもの [7]
- 5/1515 ・ ・ ・ ・ 3 員環 [7]
- 5/1525 ・ ・ ・ ・ 4 員環 [7]
- 5/1535 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [7]
- 5/1539 ・ ・ ・ ・ ・ 環状無水物 [7]
- 5/1545 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [7]
- 5/156 ・ ・ ・ 異項原子として 2 個の酸素を有するもの [7]
- 5/1565 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [7]
- 5/1575 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [7]
- 5/159 ・ ・ ・ 異項原子として 3 個以上の酸素を有するもの [7]
- 5/16 ・ 窒素含有化合物 [2]
- 5/17 ・ ・ アミン ; 第四級アンモニウム化合物 [2]
- 5/18 ・ ・ ・ 芳香族アミノ基を有するもの [2]
- 5/19 ・ ・ ・ 第四級アンモニウム化合物 [2]
- 5/20 ・ ・ カルボン酸アミド [2]
- 5/205 $\begin{array}{c} \text{O} \\ \parallel \\ \text{--O--C--N<} \end{array}$ 基を含有する化合物 , 例 .
カルバミン酸塩 [6]
- 5/21 ・ ・ 尿素 ; その誘導体 , 例 . ビューレット [2]
- 5/22 ・ ・ 他の 1 個の窒素原子に結合する窒素原子を含有する化合物 [2]
- 5/23 ・ ・ ・ アゾ化合物 [2]
- 5/24 ・ ・ ・ ヒドラジンの誘導体 [2]
- 5/25 ・ ・ ・ ・ カルボン酸ヒドラジド [2]
- 5/26 ・ ・ ・ ・ セミカルバジド [2]
- 5/27 ・ ・ ・ 他の 2 個の窒素原子に結合する窒素原子を含有する化合物 , 例 . ジアゾアミノ化合物 [2]
- 5/28 ・ ・ ・ ・ アジド [2]
- 5/29 ・ ・ 炭素 - 窒素二重結合を含有する化合物 [2]
- 5/30 ・ ・ ・ ヒドラゾン ; セミカルバゾン [2]
- 5/31 ・ ・ ・ グアニジン ; その誘導体 [2]
- 5/315 ・ ・ 炭素 - 窒素三重結合を含有する化合物 [6]
- 5/32 ・ ・ 窒素 酸素結合を有する化合物 [2]
- 5/33 ・ ・ ・ オキシム [2]
- 5/34 ・ ・ 異項原子として窒素を有する複素環式化合物 [2]
- 5/3412 ・ ・ ・ 異項原子として 1 個の窒素を有するもの [5]
- 5/3415 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [5]
- 5/3417 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/3432 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [5]
- 5/3435 ・ ・ ・ ・ ・ ピペリジン [5]
- 5/3437 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/3442 ・ ・ ・ 異項原子として 2 個の窒素を有するもの [5]
- 5/3445 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [5]
- 5/3447 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/3462 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [5]
- 5/3465 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/3467 ・ ・ ・ 異項原子として 3 個以上の窒素を有するもの [5]
- 5/3472 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [5]
- 5/3475 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/3477 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [5]
- 5/3492 ・ ・ ・ ・ ・ トリアジン [5]
- 5/3495 ・ ・ ・ ・ ・ 炭素環で縮合されたもの [5]
- 5/35 ・ ・ ・ 異項原子として更に酸素を有するもの [2]
- 5/353 ・ ・ ・ ・ 5 員環 [5]
- 5/357 ・ ・ ・ ・ 6 員環 [5]
- 5/36 ・ いおう , セレンまたはテルル含有化合物 [2]
- 5/37 ・ ・ チオール [2 , 7]
- 5/372 ・ ・ チオエーテル [6 , 7]
- 5/375 ・ ・ ・ 6 員環芳香族を含有するもの [6 , 7]
- 5/378 ・ ・ ・ 複素環を含有するもの [6 , 7]
- 5/38 ・ ・ チオ炭酸 ; その誘導体 , 例 . キサントゲン酸塩 [2]
- 5/39 ・ ・ チオカルバミン酸 ; その誘導体 , 例 . ジチオカルバミン酸塩 [2]
- 5/40 ・ ・ ・ チウラムスルフィド ; チウラムポリ

$$\begin{array}{c} \text{>N--C--(S)}_x\text{--C--N<} \\ \parallel \qquad \qquad \parallel \\ \text{S} \qquad \qquad \text{S} \end{array}$$
スルフィド , 例 .
基を含有する化合物 [2]
- 5/405 ・ ・ チオ尿素 ; その誘導体 [6]
- 5/41 ・ ・ いおう 酸素結合を有する化合物 [2]
- 5/42 ・ ・ ・ スルホン酸 ; その誘導体 [2]
- 5/43 ・ ・ いおう 窒素結合を有する化合物 [2]
- 5/435 ・ ・ ・ スルホンアミド [6]
- 5/44 ・ ・ ・ スルフエンアミド [2]
- 5/45 ・ ・ 異項原子としていおうを有する複素環式化合物 [2]
- 5/46 ・ ・ ・ 異項原子として酸素または窒素を有するもの [2]
- 5/47 ・ ・ ・ ・ チアゾール [2]
- 5/48 ・ ・ セレンまたはテルル含有化合物 [2]
- 5/49 ・ ・ りん含有化合物 [2]
- 5/50 ・ ・ ・ りん 炭素結合のみを有するもの [2 , 5]
- 5/51 ・ ・ りん 酸素結合を有するもの [2]
- 5/52 ・ ・ ・ 酸素との結合のみを有するもの [2]
- 5/521 ・ ・ ・ ・ りん酸エステル , 例 . H_3PO_4 のエステル [5]
- 5/523 ・ ・ ・ ・ ・ ヒドロキシアリール化合物との

	[5]		結合を有する有機化合物 [2]
5/524	・ ・ ・ 亜りん酸エステル, 例. H_3PO_3 のエステル [5]	5/57	・ ・ 有機すず化合物 [2]
5/526	・ ・ ・ ・ ヒドロキシアリール化合物を有するもの [5]	5/58	・ ・ ・ いおうを含有するもの [2]
5/527	・ ・ ・ ・ 環状エステル [5]	5/59	・ ひ素またはアンチモン含有化合物 [2]
5/529	・ ・ ・ ・ りん酸または亜りん酸の環状エステルを表さない複素環を含有するエステル [5]	7/00	形状に特徴を有する配合成分の使用 [2]
5/53	・ ・ ・ 酸素および炭素との結合のみを有するもの [2, 5]	7/02	・ 繊維またはウスカ [2]
5/5313	・ ・ ・ ・ ホスフィン酸化合物, 例. $R_2 = P(: O) OR$ [5]	7/04	・ ・ 無機物 [2]
5/5317	・ ・ ・ ・ ホスフィン酸化合物, 例. $R_2 = P(: O)(OR)_2$ [5]	7/06	・ ・ ・ 元素 [2]
5/5333	・ ・ ・ ・ ・ ホスフィン酸エステル [5]	7/08	・ ・ ・ 酸素含有化合物 [2]
5/5337	・ ・ ・ ・ ・ 更にハロゲンも含有するもの [5]	7/10	・ ・ ・ けい素含有化合物 [2]
5/5353	・ ・ ・ ・ ・ 更に窒素も含有するもの [5]	7/12	・ ・ ・ ・ 石綿 [2]
5/5357	・ ・ ・ ・ ・ 環状 [5]	7/14	・ ・ ・ ガラス [2]
5/5373	・ ・ ・ ・ ・ ホスフィン酸の環状エステル以外の複素環を含有するもの [5]	7/16	・ 固体球状物 [2]
5/5377	・ ・ ・ ・ 亜ホスフィン酸化合物, 例. $R_2 = P OR$ [5]	7/18	・ ・ 無機物 [2]
5/5393	・ ・ ・ ・ 亜ホスフィン酸化合物, 例. $R_2 = P (OR)_2$ [5]	7/20	・ ・ ・ ガラス [2]
5/5397	・ ・ ・ ・ ホスフィンオキサイド [5]	7/22	・ 発泡状, 多孔状, 中空状の粒子 [2]
5/5398	・ ・ りん いおう結合を有するもの [5]	7/24	・ ・ 無機物 [2]
5/5399	・ ・ りん 窒素結合を有するもの [5]	7/26	・ ・ ・ けい素含有化合物 [2]
5/54	・ けい素含有化合物 [2]	7/28	・ ・ ・ ガラス [2]
5/541	・ ・ 酸素を含有するもの [7]	9/00	前処理された配合成分の使用 (高分子物質を含有する物品または成形体の製造における前処理された繊維質材料の使用 C 0 8 J 5 / 0 6) [2]
5/5415	・ ・ ・ 1 個以上の S i - O 結合を含有するもの [7]	9/02	・ 無機物質で処理された配合成分 [2]
5/5419	・ ・ ・ ・ 1 個以上の S i - C 結合を含有するもの [7]	9/04	・ 有機物質で処理された配合成分 [2]
5/5425	・ ・ ・ 1 個以上の C = C 結合を含有するもの [7]	9/06	・ ・ けい素含有化合物による処理 [2]
5/5435	・ ・ ・ 環中に酸素を含有するもの [7]	9/08	・ 結合剤処理によって集塊された配合成分 [2]
5/544	・ ・ 窒素を含有するもの [7]	9/10	・ カプセル化された配合成分 [2]
5/5445	・ ・ ・ 1 個以上の S i - N 結合を含有するもの [7]	9/12	・ 吸着された配合成分 [2]
5/5455	・ ・ ・ 1 個以上の $\begin{array}{c} O \\ \\ >N-C- \end{array}$ 基を含有するもの [7]	11/00	構造未知の配合成分の使用, 例. 未確定反応生成物 [2]
5/5465	・ ・ ・ 1 個以上の C = N 結合を含有するもの [7]	13/00	メイングループ C 0 8 K 3 / 0 0 ~ C 0 8 K 1 1 / 0 0 のいずれのメイングループにも包含されない配合成分であって, そのいずれの化合物も本質的な配合成分からなる混合物の使用 [4]
5/5475	・ ・ ・ 1 個以上の C - N 結合を含有するもの [7]	13/02	・ 有機および無機の配合成分 [4]
5/548	・ ・ いおうを含有するもの [7]	13/04	・ 形状によって特徴づけられた配合成分および有機または無機の配合成分 [4]
5/549	・ ・ 環中にけい素を含有するもの [7]	13/06	・ 前処理された配合成分およびメイングループ C 0 8 K 3 / 0 0 ~ C 0 8 K 7 / 0 0 に包含される配合成分 [4]
5/55	・ ほう素含有化合物 [2]	13/08	・ 構造未知の配合成分およびメイングループ C 0 8 K 3 / 0 0 ~ C 0 8 K 9 / 0 0 に包含される配合成分 [4]
5/56	・ 有機金属化合物, すなわち, 金属 炭素		